

(マイ・タイムライン) 我が家の避難計画をつくろう

我が家の避難計画とは

「我が家の避難計画」とは、台風や大雨などの災害に備えて、一人一人の家族や生活状況に合わせた避難行動を時系列で決めておくものです。「避難先」「いつ」

「誰が」「何をするか」を避難計画にまとめておくことで、いざという時に慌てずに行動をとる助けになりますので、ぜひ作っておいてください。

我が家の避難計画の作り方

STEP 1

〇〇家の部分を記入する

【】 **家**の避難計画 マイ・タイムライン作成シート

↑ **ここを記入**

まずは、**建物**が頑丈またはマンション → **ハザードマップの浸水深を考慮すると、垂直避難で安全が確保できる**。いいえ

浸水深を考慮する → **ハザードマップの浸水深を考慮すると、垂直避難で安全が確保できる**。いいえ

浸水深を考慮する → **ハザードマップの浸水深を考慮すると、垂直避難で安全が確保できる**。いいえ

まずは、名前を記入してください。

STEP 2

洪水ハザードマップで 自宅と周辺の状況を確認する

【】 **家**の避難計画 マイ・タイムライン作成シート

↑ **ここを記入**

まずは事前確認 → **ハザードマップの浸水深を考慮すると、垂直避難で安全が確保できる**。いいえ

浸水深を考慮する → **ハザードマップの浸水深を考慮すると、垂直避難で安全が確保できる**。いいえ

裏面の日光川水系日光川流域洪水浸水想定区域図（想定最大規模）から、自宅や周辺の浸水深を確認してください。

STEP 3

避難先を決める

【】 **家**の避難計画 マイ・タイムライン作成シート

↑ **ここを記入**

浸水深を考慮する → **ハザードマップの浸水深を考慮すると、垂直避難で安全が確保できる**。いいえ

浸水深を基に、ハザードマップを参考にして避難先を決めてください。

※避難先は、浸水深と居室の高さによっては在宅避難をすることも可能です。また、被害が広域になることも想定して、知人や親戚宅なども避難先として検討しましょう。

STEP 4

警戒レベルごとに 自分や家族が何をするのか、 避難完了までの行動を考える

※警戒レベルとは、災害発生時の危険度ととるべき避難行動を、住民の方が直感的に理解するための「5段階」の警戒レベル

警戒レベル	経過時間	我が家の行動予定表
1 警戒レベル1 台風予報など (台風発生)	2〜3日 目前	□避難するときに持っていくものを用意しておく。 □テレビやラジオなどで天気予報の情報を確認する。 □強風や大雨が起きる前に準備しておく。 □近所や地域の避難所・避難場所・避難経路を確認する。 □避難するタイミングを把握する。 □避難するときに必要なものを準備しておく。
2 警戒レベル2 大雨・大雨・ 高潮注意 危険など	1日前 大雨当日	□避難するときに持っていくものを準備しておく。 □避難するときに必要なものを準備しておく。 □避難するときに必要なものを準備しておく。
3 警戒レベル3 避難者等避難 避難に時間がかかる人、 その支援者は避難開始 レベル3相違 危険・大雨・高潮 警戒など	3時間前 避難開始	□避難開始（上記避難先へ） □避難開始時には危険な場所から全員避難 □近所の入に声を掛けて一緒に避難する。 □避難するときに必要なものを準備しておく。
4 警戒レベル4 避難指示 全世帯避難 危険・大雨・高潮 危険警戒	避難完了 避難完了	□避難完了（上記避難先へ） □避難完了時には危険な場所から全員避難 □近所の入に声を掛けて一緒に避難する。 □避難するときに必要なものを準備しておく。
5 警戒レベル5 避難安全確保 レベル5相違 危険・大雨・高潮 特別警戒	避難完了 避難完了	□避難完了（上記避難先へ） □避難完了時には危険な場所から全員避難 □近所の入に声を掛けて一緒に避難する。 □避難するときに必要なものを準備しておく。

↑ 警戒レベル4までに必ず避難!! ↑

【使い方】
□避難計画を記載し、家のすぐそばの場所に貼って、いつでも内容を確認できるようにしておきましょう。

※避難先や避難場所などはハザードマップで確認してください。
ハザードマップの入手方法
①自治体ホームページ
②防災館
③防災マップ

「いつ」「誰が」「何をするか」を避難計画に記載して「家族の逃げ遅れゼロ」を目指しましょう。